

9月議会に続いて、10月25日から平成16年度一般会計・特別家計・水道会計決算認定について、決算特別委員会が開催され、11月7日には、これまでの総務・民生・建設・文教・水道等の所管ごとの質疑を踏まえ、吉松正憲議員が総括質疑をおこないました。

同議員は、「地下鉄門真南駅前土地区画整理事業が平成16年度に終了したことを踏まえ、バブル期につくられた南部地域整備大綱を根底から見直すべき」と園部市長の認識をただしました。しかし、市長は答弁に立たず、「見直しは必要」としながら、あくまでも「秩序あるまちづくりのためにも一定の大綱は必要」と矛盾した答弁に終始しました。

水道会計、黒字分の利用者への還元と減免制度創設を求める

水道会計決算の審議の中で、門真市水道事業会計が約8000万円の黒字を計上していること。また、門真市が浄水を購入している大阪府営水道事業が約170億円もの黒字を計上していることを指摘したことを踏まえ、高齢者等低所得者への水道料金の減免制度を門真市が導入するよう重ねて要求。研究・検討することについては、否定できませんでした。

教育用コンピューターに突出したお金の使い方改めよ

教育行政全体との関係で突出したコンピューター教育用機器の予算化について、「国からの指導基準に基づいて導入したが、他の事業とのアンバランスという点で反省もある」との企画部の踏み込んだ答弁をとりあげ、教育委員会が、コンピューター機器に突出した予算措置を慎重に検討し、直面する課題をおろそかにすることのないよう強く求めました。



市会議員 吉松正憲

住所 門真市城垣町16-17(自宅) 電話885-1201
門真市城垣町14-18(事務所) 電話881-0752(転送電)

生活相談日 毎週月曜日 午前9:30~12:00 市役所控室
毎週木曜日 午後3:30~6:00 吉松事務所
☆ご相談は、事前にご連絡いただいた方が確実です。

決算委員会報告 バブル期の南部地域整備大綱の見直し、矛盾した答弁に終始

駅周辺の放置自転車対策はこれでいいのか

11月2日開かれた決算特別委員会（建設所管）で吉松正憲議員は、放置自転車対策について、地下鉄門真南駅及び京阪電鉄各駅の自転車駐車場整備状況と充足率、街頭指導の状況について質問。市の担当者は「門真南駅周辺に3ヶ所1985台、京阪電鉄各駅に10ヶ所1万1875台、合計1万3860台で平日は充足しているが、土・日はかなりの台数の自転車が駅周辺にあふれ、充足率はかなり低下している。」と答弁。また、街頭指導後及び土・日の放置自転車への認識と対応策について。「迷惑駐輪が急激に増えていることは把握している。特に土・日については買い物客等のため放置が増え、手のつけられない状況にある。」



日曜夕方 大和田駅北側



同古川橋駅北側



同古川橋ダイエー前

さらに、古川橋ダイエー前の不法駐輪対策の見直しについて。「歩行者、特に障害者や高齢者の安全通行に大きな妨げとなっている。16年度には、鉄道関係者、商業関係者、市が3回ほど話し合ったが、未だ確たる方策は見つかっていない。今後、有効な対策がとれるようさらに協議を進める。」との答弁に止まりました。

京阪等各駅の街頭指導の状況

古川橋駅	7時30分~9時30分の 2時間を4人で
門真市駅	7時30分~14時30分の 7時間を1人で
大和田駅	7時30分~14時30分の 7時間を3人で
萱島駅	7時30分~14時30分の 7時間を1人で
門真南駅	10時~12時の 2時間を2人で

市内自転車駐車場の充足率（埋まり具合）

	定期	一時
門真市駅北自転車駐車場	36.7%	51.7%
門真市駅南第1自転車駐車場	97.6%	110.7%
門真市駅南第2自転車駐車場	55.8%	—
門真市駅南第3自転車駐車場	39.4%	—
古川橋駅自転車駐車場	32.1%	91.2%
大和田駅自転車駐車場	38.3%	105.5%
萱島駅西自転車駐車場	56.3%	252.9%